

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	消火活動中にハチに刺された事例
3. 体験した事例の中心的要素	隣家への延焼阻止のため、筒先位置を指示していたところ、しころと、防火長靴のゴムカバーの隙間からハチが入り刺されたもの
4. 体験した事例の原因・理由	現場到着時火災は最盛期であり、地理的にも後続隊の到着までは相当な時間を要することが考えられ、タンク車一台（隊員4名）で火元建物の北側及び南側の隣家への延焼を阻止するのは困難な状況だった。「ハチ」という危険は予測することが困難ではあったが、しころ及び防火長靴の着装が完全であれば、防ぎえた事例だと考えられる。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

.....

1. 発生日時	平成 14 年 9 月 24 日 午後 5 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：火元建物と隣家との間
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：ハチ刺症
7. 事例体験時の活動	火災、 [木造建物]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	部署・筒先配備、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[47]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[8]年、階級[消防司令]、同様の活動 [頻繁]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	現場到着し、逃げ遅れがないことを確認した	
経過2	A	隣家への延焼阻止を優先し、筒先位置を誘導指示した	
経過3	A	しころ及び防火長靴のゴムカバーの隙間から入ってきたハチに刺された	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

- 事故の場合 ：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

個人装備が不適切だった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

使命感のみにとらわれることのないよう、各個人の安全管理の徹底

○装備・資機材の対策について

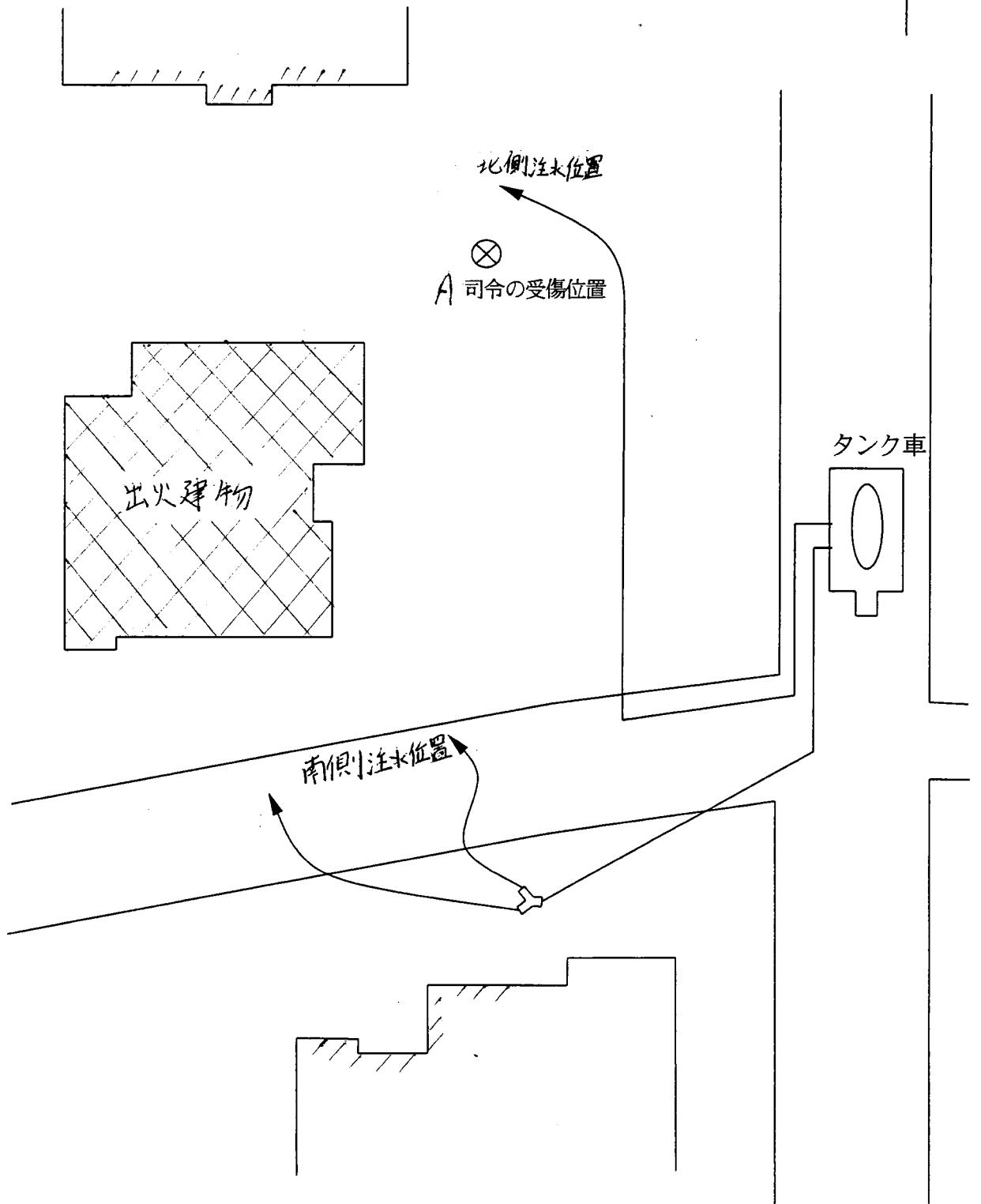
個人装備の完全着装の徹底

（現在は上下セパレートの防火衣へ、防火ヘルメットはより安全性の高いものへ更新）

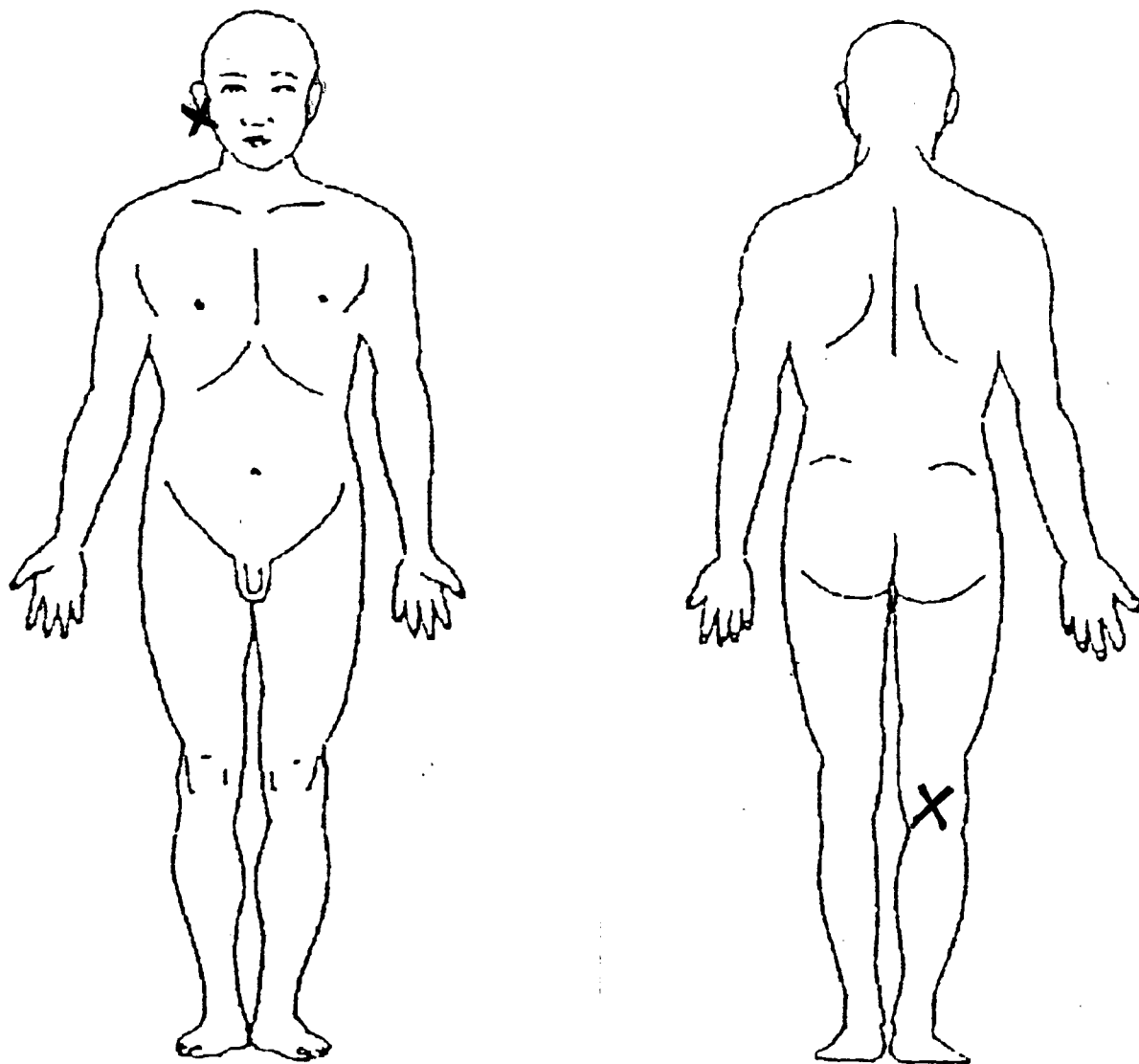
○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

現場配置図



傷病部位



×印が蜂に刺された箇所